



2025.2.1 (土)

13:00 ~ 16:00

立教大学 池袋キャンパス  
11号館地下 AB01 教室

事前登録制  
お申し込みは QR コードから



# 沖縄をかたり継ぐこと

## —— 山城知佳子の映像作品における暴力と救済の形象

本シンポジウムは日米間の最大の懸案事項の一つであり続けてきた沖縄という問題に焦点をあて、第二次世界大戦、占領、米軍の駐留によってもたらされてきた沖縄とその人々の痛みや傷、そしてそれからの回復や治癒を表現し続けてきた映像作家の山城知佳子氏を迎え、21世紀の現代において、沖縄の歴史や文化はどのように語りうるのかという問題を考える。作品制作のプロセス、作品の意味、そして映像メディアと戦争のイメージ化といったトピックを、現代アメリカ文化におけるマイノリティのセルフ・イメージの構築と比較しながら、議論する。第一部では山城氏の映像作品を上映する予定。その後第二部において、山城氏と作品出演者で舞踊家の砂連尾理教授と作品についてのトークセッションを実施する。



講師

山城 知佳子

映像作家・東京芸術大学美術学部先端芸術表現科 准教授

砂連尾 理

振付家 / ダンサー・立教大学現代心理学部教授

江崎 聡子

聖学院大学人文学部准教授

司会

松原 宏之

立教大学文学部教授・アメリカ研究所所長

13:00 - 作品上映

肉屋の女 A Woman of the Butcher Shop, 2016 (27:30)

土の人 Mud Man (Single channel version), 2017 (26:00)

チンビン・ウェスタン一家族の表象ー Chinbin Western: Representation of the Family, 2019 (32:00)

15:00 - トークセッション

山城知佳子×砂連尾 理×江崎 聡子